

平成26年度

決算報告書

(第5期事業年度)



自 平成26年 4月 1日
至 平成27年 3月31日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

平成26年度 決算報告書

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額（決算－予算）	備考
収入				
運営費交付金	13,221	13,417	196	(注1)
施設設備等整備費補助金	984	955	▲29	(注2)
自己収入	459	357	▲102	
依頼試験手数料等	267	154	▲113	(注3)
財産売払収入	148	137	▲11	(注4)
知的財産関連収入	15	17	2	(注5)
雑収入	29	49	20	(注6)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,281	1,159	▲122	
受託研究等収入等	1,155	1,037	▲118	(注7)
循環資源利用促進基金収入	126	122	▲4	(注8)
補助金収入	80	55	▲25	(注9)
目的積立金取崩	1,000	842	▲158	(注10)
計	17,025	16,785	▲240	
支出				
研究経費	1,495	1,333	▲162	(注11)
一般管理費	3,003	2,788	▲215	(注12)
人件費	9,632	9,340	▲292	(注13)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,281	1,156	▲125	
受託研究等経費等	1,155	1,034	▲121	(注14)
循環資源利用促進基金事業費	126	122	▲4	(注15)
施設設備等整備費	1,534	1,387	▲147	(注16)
補助金事業費	80	55	▲25	(注17)
計	17,025	16,059	▲966	
収入－支出	—	726	726	

(注1) 前年度からの繰越があったことなどにより、予算に比して決算額が196百万円増加しました。

(注2) 入札結果に基づく契約確定額の減少などにより、予算額に比して29百万円減少しました。

(注3) 依頼者等の減少などにより、予算額に比して決算額が113百万円減少しました。

(注4) 畜産物や木製加工品等の売払収入の減少などにより、予算額に比して決算額が11百万円減少しました。

(注5) 特許権の実施料の増加などにより、予算額に比して決算額が2百万円増加しました。

(注6) 法人財産使用料や預金利息の増加などにより、予算額に比して決算額が20百万円増加しました。

- (注7) 年度途中で採択を見込んでいた受託研究等の減少などにより、予算額に比して118百万円減少しました。
- (注8) 注15に示した理由により、予算額に比して決算額が4百万円減少しました。
- (注9) 年度途中で採択を見込んでいた補助金の減少などにより、予算額に比して25百万円減少しました。
- (注10) 目的積立金の取崩を中止したことにより、予算額に比して158百万円減少しました。
- (注11) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分が違うため、損益計算書と決算報告書の研究経費の額が相違しています。また、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して162百万円減少しました。
- (注12) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分が違うため、損益計算書と決算報告書の一般管理費の額が相違しています。また、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して215百万円減少しました。
- (注13) 職員人件費等の減少により、予算額に比して決算額が292百万円減少しました。
- (注14) 注7に示した理由などにより、予算額に比して決算額が121百万円減少しました。
- (注15) 入札結果に基づく契約確定額の減少などにより、予算額に比して4百万円減少しました。
- (注16) 注10に示した理由や入札結果に基づく契約確定額の減少などにより、予算額に比して決算額が147百万円減少しました。
- (注17) 注9に示した理由により、予算額に比して決算額が25百万円減少しました。